

事業シート (概要説明書)						
担当局名			予算事業名	中体連各種大会出場費補助金		
担当部名			総合計画上の位置付け	学校教育の充実		作成責任者
担当課・係名	学校教育課・学校教育係					吉田 佳奈
事業開始年度	不明		根拠法令	大刀洗中学校対外試合等出場費補助金交付要綱		
1 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕 (補助先: 実施主体:) <input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()					
	(1) 目的 (何のために)	大刀洗中学校に在籍する生徒の健全な教育活動の促進のため。				
	(2) 対象 (誰・何を対象に)	大刀洗中学校の生徒及び学校長が認めた外部指導者。				
	(3) 事業内容 (手段、手法など)	① 適用範囲 福岡県教育委員会、中学校体育連盟、中学校文化連盟又はこれに準ずる団体の主催による試合及び大会に出場する団体又は個人に必要な経費 (交通費、宿泊費) を補助する。 また、それ以外で町長が認めた大会については2分の1以内を補助する。 ② 対象人員 (1) 総合大会 ・市郡大会: 部員全員、筑後地区大会: 選手及び2,3年生、県大会: 選手と3年生 ・九州・全国大会: 団体戦は登録選手のみ、個人戦は選手のみ (ただし、マネージャや練習相手が必要な場合は協議が必要) (2) 新人戦 市郡・筑後地区・県: 部員全員 ③ 補助対象経費等 (1) 交通手段 ・市郡・地区・県大会: 移動が困難な場合、原則町バス使用 (公共交通機関も可) ・九州・全国大会: 鉄道料金等 (2) 宿泊費 支払った額 (ただし、10,900円が限度)				
(4) 事業の必要性	部活動は生徒の健全育成、教師と生徒、又は生徒同士の人間関係を育てる上で不可欠な活動であり、参加するためには必要な補助である。					
3 コスト	平成22年度		人件費			
	(1) 事業費	3,000 千円 (4,000)	}	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数
	(2) 人件費	230 千円		担当正職員	230 千円	0.03 人
	(3) 総計	3,230 千円 (4,230)		臨時職員他	千円	人
4 事業費 (財源内訳・単位千円)	年度	総額	実施方法が補助金の場合、事業費の負担割合		財源内訳	
	H19(決算)	4,932			一般財源	3,000
	H20(決算)	5,760				
	H21(決算見込)	2,871				
	H22(予算)	3,000				
5 平成22年度事業費内訳	① 市郡大会	2,250円	② 地区大会	231,435円	③ 県大会	283,010円
	④ 九州大会		⑤ 全国大会	1,424,950円	⑥ その他	742,038円
	合計			2,683,683円		

事業シート (概要説明書)						
担当局名		予算事業名	中体連各種大会出場費補助金			
担当部名		総合計画上の位置付け	学校教育の充実			作成責任者
担当課・係名	学校教育課・学校教育係					吉田 佳奈
6 事業実績	【活動指標名】 / 年度実績・評価	単位	H20年度	H21年度	H22年度	
	全国大会出場部数	部	2	2	2	
	県大会出場部数	部	9	8	9	
	地区大会出場部数	部	18	17	14	
7 単位当りコスト (事業費/活動指標)	事業費/出場部数		199	106		
8 成果目標 (現状の成果及び今後どのようにしたいか、定量的な評価で示す)	<p>学校及び保護者の経済的な負担を軽減し、心身ともに健康で豊かな生徒の育成に寄与しているものと考えられる。 補助金がない場合は、保護者が経費を負担することになるため、保護者の経済状況が生徒の部活動に影響することもあると考えられる。 生徒たちが安心して部活動に取り組むことができるよう事業の継続を望む。</p>					
9 成果実績 (成果指標の目標達成状況等)	【成果指標名】 / 年度実績・評価	単位	H20年度	H21年度	H22年度	
	全国大会出場部数	部	2	2	2	
	県大会出場部数	部	9	8	9	
	地区大会出場部数	部	18	17	14	
10 事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	<p>中体連、中文連等の大会出場のための経費を補助することについては、他市町村の例をみても問題ないと思われる。 ただし、全国大会で上位入賞した場合などは、〇〇杯等に招待されることがあり、この経費についてもどこからも補助はないため、町が1/2を補助している状況であり、対象となる大会の範囲の検討が課題である。</p>					
11 比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	<ul style="list-style-type: none"> ・小郡市：中体連、中文連等の大会。(宿泊費の上限は8,000円) ・うきは市：中体連、中文連の大会。(宿泊は職員旅費の金額を限度に実費を補助) ・朝倉市：県教育委員会、中体連、中文連及びこれに準ずる大会。 (市内・地区・県大会は交通費3/4以内。九州・全国大会は実費。宿泊上限13,100円) ・基山町：国、地方公共団体、学校団体が主催する大会。 (九州・全国大会は交通費実費、宿泊費5,000円以内、昼食代500円以内) 					
12 特記事項 (事業の沿革等)	<p>この補助金は、平成20年度まで内規で処理していたが、年々補助金が増加していた。現在の交付要綱は、平成21年3月25日に制定し平成21年4月1日から適用している。この要綱を制定するとき今までの基準を見直した。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 適用範囲：大会等の見直し(規定の大会以外で町長が認めた場合は1/2) ② 補助金：旅費や宿泊費の見直し ③ 補助金対象人員：人数の制限 ④ 各種雑費補助の廃止：栄養費、昼食代、大会冊子、監督等の旅費及び日当等の廃止 					